

事業所職員向け 児童発達支援事業所あつぷる（児童発達支援事業）自己評価表
（職員6名中6名）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6			・部屋数は多数あり利用目的、利用者さん個々の特性に応じて、部屋の使い分けをしています。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			・配置基準以上の職員配置ができています。利用者さん一人一人に手厚い関わりができています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	3		・室内に段差はありません。車椅子の方も正面玄関から入ることで全フロアスムーズに移動できるようになっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6			・業務の簡素化や利用者支援における改善の際は、職員と話し合いを持ちながら行っています。日々のセッションを振り返る時間を確保しています。
	5	保護者等向け評価表等で保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	6			・職員会の中で、ご家族からのご意見と職員の意見をすり合わせし、課題について職員間で議論をしています。また実際は取り組んでいることも周知不十分のためにご家族に伝わっていないこともありますので、再度周知するようにします。 ・特に課題や改善がある場合は、その記録を残し、職員全員が一律な対応となるようにしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			・毎年当法人のホームページで結果を公開しています。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1		・コロナウイルス感染症が5類になったことで、対面研修も少しずつ参加できるようになっています。オンライン研修と合わせながら、職員にとって必要な研修を受けてもらうようにしています。 ・職員からもどんなことを勉強したいのか意見を出して頂きたいと考えています。
適切な	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6			・日々ご家族から頂いたお話しや定期的に行わせて頂いたニーズ把握調査、また相談支援専門員が作成した計画等を職員間で総合的に職員間で協議した上で、個別支援計画の作成をしています。 ・ご家族のニーズと職員の判断にズレが見られる場合があるが、「その目標にたどり着くために今、取り組みするべきことは何か」を提案しています。
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、アセスメントツールを使用しているか	5	1		・利用者さんそれぞれの障害特性や最近の様子、服薬状況等、様々な項目についてご家族・職員より聞き取りを行っています。また学校や他事業所等からも情報を提供して頂き、支援に繋げています。 ・アセスメント表は事業所独自の内容を使用しております。今年度は太田ステージの考えを基に支援をしていくようにしています。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			・ケース会議や職員会、また日々の引継ぎ時間の中で、活動について話し合う時間を確保しています。 ・どのような活動をすれば利用者さんが楽しく参加できるか話し合いをしています。
	11	充実したプログラムになるように工夫しているか	6			・利用者さんにとって楽しいと思うことや、なるべく飽きがこない内容、（定着できるように敢えて同じ内容を繰り返すことはあります）になるように、職員や利用者さんと話し合いながらプログラムを考えています。 ・発達状況に応じた課題の準備、利用者さんが好きなことを取り入れる等、工夫をしています。

支援の提供	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	6			・契約者数が少ないので個別活動が中心となっています。利用者さんの状況によっては小集団活動を組み合わせています。
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・一日毎に利用者さんの顔ぶれが違います。その日どなたが利用するのか、どんな活動をするのか、また職員の役割についても確認をしています。 ・リーダー役、プロンプト役が必要な時は事前打ち合わせをしています。
	14	職員間でその日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			・情報共有をするように意識しています。時間が取れない時には引継ぎノートを活用し、他の職員にも分かるようにしています。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか	6			・利用者さん個々の支援記録を取っています。必要に応じて振り返りを行い、利用者さんの状態の変化の検証をしています。その中で支援について、今後どうしていくのかまでの話し合いをしています。
	16	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・6ヶ月毎に必ず計画の見直しを行っています。また相談支援専門員やご家族からの聞き取りを含め支援の見直しを行います。
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5	1		・ガイドラインに則り活動の組み合わせをしています。 ・自立支援・日常生活充実のための活動、身体の使い方など遊びを通して活動提供をしています。開所時間の間には、地域交流の機械の提供はできていませんが、施設のイベントに利用者さんと外部の方の触れ合いができる活動を行っています。
関係機関や保護者との連携	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にはふさわしい者が参画しているか	6			・主に児発管が参加していますが、利用者さんが利用していない時間帯の開催ですと、他の職員も参加しています。
	19	学校や保育園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・送迎等を通して保育園の先生と情報共有をすることができています。必要に応じて保育園に見学に行ったり、また保育園の先生が事業所の方に見学に来てくれることもあります。
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、保護者や主治医等との連絡体制を整えているか		6		・現在、医療ケア児はいないため今年度は行っていません。
	21	保育園を卒園する際、それまでの支援内容等の情報を学校に提供しているか	4	2		・保育園を卒業する未就学児がいませんでしたので、情報提供はできていません。今年度一名の方が対象になるので、相談支援専門員を交えて情報提供する場を考えた必要があります。 ・またご家族から要望があるとその都度対応します。
	22	地域にある専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			・幡多地域小児領域で活動をしている医療関係者・福祉関係者・教育関係者と一緒に研修を受ける機会が年間数回あります。その中で、情報共有の機会や連携体制は整えています。また利用者さんが直接療育を受けているセラピストとの情報共有・見学もできています。
23	多様な活動、体験、ボランティアの受け入れ等を通して、地域との交流を図っているか	6			・児童発達支援事業に関しては、直接的なボランティアさんの関わりや、地域との交流はしていません。しかし、地域のイベント（はたっこ祭りや、おかみさんマルシェ）に職員が参加し、事業所の広報活動を行いました。その中で、在宅のご家族から相談を受ける機会もありました。 ・閉所日ではありますが、施設のイベントに利用者さんや地域の企業様、またよさこいチームを招いて、マグロ解体ショーや一緒によさこいを踊る機会を持ってもらうことができました。	

	24	外部との会議等へ積極的に参加しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援者会議や子育てに関する会議等があれば、必要に応じて職員が参加するようにしています。 ・ 感染症の影響で会議自体が減少していましたが、今後は増えると思われます。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ セッションを直接見学していただいているご家庭が多いので、現状や最近の様子等共有させていただいています。また連絡帳を活用した情報共有も行っています。 ・ ご家族がお子さまにどのようになってほしいか聞き取りを行い、可能な範囲で支援に繋がっています。
保護者への説明責任等	26	運営規程、支援の内容、利用者負担等について保護者に説明を行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援内容は個別支援計画またモニタリング報告の際、また日々ご家族の方がお迎えに来られた際に、可能な範囲でお話をさせて頂いております。 ・ 契約（更新）時に、契約書や重要事項説明書の中で運営規定や利用者負担額等について説明をさせて頂き、承諾を得るようにしています。
	27	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に対し、必要な助言と支援を行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談内容にもよりますが、可能な範囲でアドバイスを行っています。また相談された時に即答できないこともありますので、上司に確認したり調べ、後日伝えるように心掛けています。 ・ ご家族からのお話を傾聴するよう心掛けています。
	28	保護者懇談会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者懇談会開催のご案内をしていましたが、感染症が急増で参加が難しいご家族が多くなったため、急遽延期をすることになりました。年度内に開催するように調整しています。
	29	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情が上がった場合は、速やかに謝罪・必要な対応を講じています。他のご家族にも通信等でお伝えします。また苦情ではなく、ご意見・ご提案として頂いた内容も、職員間で共有させていただいております。 ・ 児童発達支援事業において今年度苦情はありませんでした。
	30	定期的に会報等を発行し、活動概要や必要な情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月事業所お便りを発行し活動概要や必要な情報を発信しています。 ・ 主に放デイを中心とした内容になっていることが多く、今後の在り方について検討する必要があるように思えます。
	31	個人情報に十分注意しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約時（更新時）に、ご家族には個人情報取り扱いに関する調書に必要事項の記入をして頂いております。それに基づいて対応しています。
	32	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしていることはあるか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚優位の利用者さんに対しては、絵カードやスケジュール提示をして見通しが持てるようにしています。普段来所が難しいご家族には、連絡帳を活用して、情報共有を図るようにしています。 ・ 利用者さんには明瞭な言葉で伝えるようにしています。
33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月は施設のイベントに地域の企業様やよさこいチームの踊り子、また多くのボランティアさんに来ていただいて運営することができました。内容はとても好評でした。 ・ 12月は施設外壁にクリスマスイルミネーションを設置し、チラシを公共施設に配布し多くの方に見てもらいました。 ・ 地域の行事に事業所のブースを構え、多くの方と交流することはできました。 	

非常時等の対応	34	緊急時対応や感染症の対応等のマニュアルを策定し保護者に周知しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書の中で病気やケガ、避難訓練等について説明をしております。 ・感染症や荒天時の対応については随時文書を発行しております。また月毎のお便りに、その時期に心配される緊急性のある内容について記載しております。 ・施設内に設置している防災委員会と協力し、当事業所にとって必要な事項を見直ししていきたいと考えております。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所としては毎月1回は併設の入所施設と合同で避難訓練（地震・火災・風水害）をしています。 ・児童発達支援事業の利用者さんが参加できる時間帯ではないので、訓練方法の見直しをしようと考えています。
	36	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置しています。その中でセルフチェックシートを活用して、不適切な支援が行われていないか点検しています。 ・困難事例についてケース会で話し合いを持っています。
	37	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束対象の利用者さんはいません。
	38	食物アレルギーのある子どもについて、保護者からの説明や医師の指示書に基づく対応がされているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業は飲食の提供をしていませんので、対象外です。
	39	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業では事故やヒヤリハット案件はありませんが、そのような事案が発生した場合は、速やかに報告書を作成し、改善策を話し合います。

集計日:令和 6年 1月 16日(火)